

気候情報

2012年11月の日本の天候

- 北日本と東日本日本海側では月降水量がかなり多く、月間日照時間がかなり少なかった
- 月平均気温は北日本で平年並、東日本以西では低かった

11月の天気概況

北日本と東日本日本海側では低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨または雪の日が多かった。北日本と東日本日本海側での月降水量はかなり多く、月間日照時間はかなり少なかった。特に、北日本日本海側の月降水量の平年比は160%となり、1946年の統計開始以降最も多い値を更新した。また、北日本太平洋側の月間日照時間の平年比は77%となり、1946年の統計開始以降最も少ない値を更新した。

東日本太平洋側と西日本では、低気圧と高気圧が交互に通る気象は数日の周期で変わった。沖縄・奄美も天気は数日の周期で変わったが、上旬を中心に寒気の影響により曇りの日が多かった。

なお、月の中旬からは、低気圧の通過後に一時的な冬型の気圧配置となり、北・東日本では降雪となった日があった。旭川と網走（共に北海道）では18日に初雪を観測したが、11月に入っても暖かい日が続いた影響で、旭川と網走の初雪は統計開始（それぞれ1889年、1890年）以降最も遅い記録を更新した。また、26日から27日にかけては低気圧が北・東日本で発達し、北海道で暴風の被害があった。

気温は、北日本では、月の前半は暖かい空気に覆われたため平年を上回ったが、月の後半は平年を下回った。東日本以西では、概ね月を通じて気温は平年を下回った。

上旬：北日本と東日本日本海側では低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。日照時間はかなり少なく、特に、北日本太平洋側では11月上旬としては統計を開始した1961年以降最も少ない値を更新した（平年比：67%）。東日本太平洋側と西日本では、数日の周期で天気が変わった。沖縄・奄美では寒気の影響により曇りの日が多かった。なお、北日本では暖かい空気に覆われやすく気温は平年を上回ったが、東日本以西では平年を下回った日が多かった。

中旬：はじめは深い気圧の谷が日本付近を通り、全国的に雨となった。14日は上空の強い寒気の影響で東・西日本日本海側を中心に雷やひょうを観測し、15日にかけて冬型の気圧配置となり、北日本から西日本にかけての日本海側では雨や雪となった。その後、移動性高気圧が本州付近を通過した後、17日には再び深い気圧の谷が通過し、20日にかけて北日本を中心に弱い

冬型の気圧配置が続いた。松本や長野（共に長野県）など東日本の標高の高い所では14日から15日に、北日本では18日に初雪を観測した所があった。

下旬：数日の周期で本州付近を低気圧が通り、全国的に曇りや雨または雪となった日があった。特に26日から27日にかけては低気圧が発達しながら通過したため、北・東日本で暴風となった所があり、27日には冬型の気圧配置となって北日本日本海側を中心に降雪となった。

11月の気候統計

月平均気温：東・西日本、沖縄・奄美で低く、西日本で平年を1℃以上下回った。北日本では平年並だった。

月降水量：北日本、東日本日本海側でかなり多く、東日本太平洋側、西日本で多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

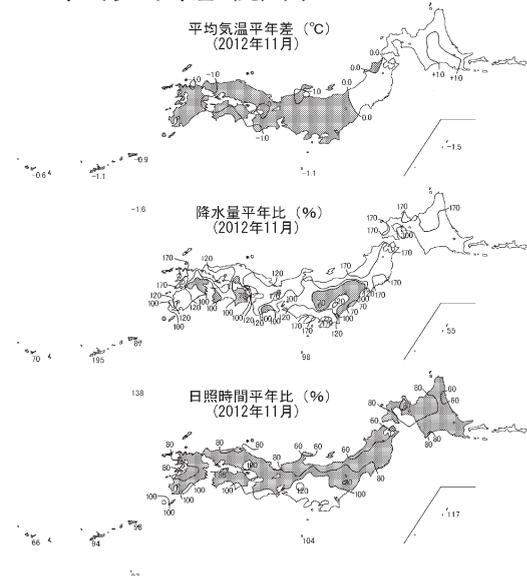
月間日照時間：北日本、東日本日本海側でかなり少なく、西日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。東・西日本太平洋側では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

11月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から（mm）
深浦 398.5 秋田 364.5 酒田 431.0
- ・月間日照時間少ない方から（時間）
紋別 66.8 むつ 65.1

2012年11月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。